

《履修上の留意事項》精神保健福祉士国家試験を受験予定の者は必ず履修すること。

《担当者名》鈴木 和 suzuki_w@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

精神障害者に対する福祉制度の概要と福祉サービスについて理解し、精神保健福祉に関する社会保障制度（医療保険制度、介護保険制度、所得保障等）を学ぶ。さらに更生保護制度、医療観察法の概要についても学ぶ。

【学修目標】

- 1 実践で必要な知識習得のため、精神障害者に関連する社会保障制度の概要を理解する。
- 2 実践で必要な知識習得のため、更生保護制度と医療観察法の概要を理解する。
- 3 精神障害者を対象とした福祉施策・事業について説明する。
- 4 医療観察法の意義と社会復帰調整官等の役割について説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	学習の目的・内容の説明	鈴木
2	精神障害者に関する制度・施策の理解	社会保障と精神保健福祉の仕組みと体系について理解を深め、説明できる。	鈴木
3	精神障害者に関する制度・施策の理解	精神障害者に関する制度の成立過程とその特徴について理解を深め、説明できる。	鈴木
4	精神障害者に関する制度・施策の理解	精神障害者に関する制度活用の流れについて理解を深め、説明できる。	鈴木
5	精神障害者の医療に関する制度	精神保健福祉法の概要と精神保健福祉士の役割について理解を深め、説明できる。	鈴木
6	精神障害者の医療に関する制度	医療観察法の概要と精神保健福祉士の役割について理解を深め、説明できる。	鈴木
7	精神保健福祉相談援助に関する制度やサービス、および、関係機関や専門職	精神科医療機関における精神保健福祉士の実践と関係する制度やサービスについて、特別講師の講話を通じて理解を深める。	尾形 多佳士（特別講師） 鈴木
8	障害者差別解消法と障害者虐待防止法、および意思決定支援	精神保健福祉に関する支援における意思決定支援について理解を深め、自分の意見を述べるができる。	鈴木
9	地域移行・地域定着支援と地域包括ケアシステム	精神保健福祉に関する支援における意思決定支援について理解を深め、説明できる。	鈴木
10	精神保健福祉相談援助に関する制度やサービス、および、関係機関や専門職	障害福祉サービス事業所におけるソーシャルワーカーの実践と関係する制度やサービスについて、特別講師の講話を通じて理解を深める。	和泉 亮（特別講師） 鈴木
11	精神障害者の生活支援に関する制度	精神障害者の生活支援の基本的な考え方や関連する制度・サービスについて学び、説明できる。	鈴木
12	精神障害者の経済的支援	精神障害者の経済的支援の基本的な考え方や関連する制度・サービスについて学び、説明できる。	鈴木
13	精神障害者と生活困窮	精神障害者の生活困窮の実態を知り、生活保護制度について学び、説明できる。	鈴木
14	精神障害者と生活困窮	精神障害者の生活困窮に関連する制度・サービスについて学び、説明できる。	鈴木
15	本科目のまとめ	本科目で学んだことについてグループディスカッションを通じて理解を深める。	鈴木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート 100%

【教科書】

最新 精神保健福祉士養成講座 4 精神保健福祉制度論 中央法規出版

【参考書】

その都度紹介する

【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神保健福祉制度論」に該当する。

Google Classroomを利用して学習課題を掲示する。

Google Formを活用し、学生の理解度を把握する。

【学修の準備】

毎回の授業内容を確認し、教科書、必要な資料等を読んで予習しておくこと（予習2時間）

毎回の授業終了後に提示した課題について調べ、まとめることにより学習を深めること（復習2時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

鈴木 和（社会福祉士、精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉に関する専門職としての実務経験に基づき、精神保健福祉に関連する社会保障制度、サービスについて具体的な事例を用いて講義する。